

令和5年度学校自己評価システムシート(東京農業大学第三高等学校・同附属中学校)

目指す学校像
1 主体性を重視する教育活動を展開する。
2 部活動の強化により、学校に活力を与える。
3 生活指導を徹底していく中で、地域社会・国際社会から信頼される人材を育成する。
4 私学としての特性を生かし、生徒・保護者と向き合い満足度を高める学校改革を進める。
5 志願者を増加させ、定員の確保をめざす。
6 財政の健全化を目指すなかで、生徒への教育サービスを向上させる。
7 授業力のさらなる向上を目指す。

重点目標
1. 外部研修・内部研修・生徒による授業評価を通して、授業力と生徒の学力の向上を図っていく。
2. 学年・教科・コース・クラブ活動・学校行事等の連携を強め、すべての教育活動で主体性を重視していく。
3. 将来の社会変化に対応できる人材育成を目指し、民間企業等と連携しながら特色ある教育内容を構築する。
4. 志願者を増加させ、定員の確保を目指す。

達成度
A ほぼ達成(8割以上)
B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上)
D 不十分(4割未満)

<学校評価委員会構成>
学校関係者評価委員 4名
外部評価委員 10名

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価
年度目標
年度評価(令和6年3月31日現在)
番号 現状と課題 評価項目 具体的方策 方策の評価指標 評価項目の達成状況 達成度 次年度への課題と改善策

学校関係者評価
評価会議開催日 令和6年5月11日
達成度 理由・意見